

# 6月は畜産環境保全月間です

梅雨の6月は雨天等により、畜産環境が悪化しやすい時期です。環境問題の発生のないように「家畜排せつ物の処理及び利用の促進に関する法律」を遵守し、環境に配慮した経営を実践しましょう。

## 管理方法に関する基準

イ 家畜排せつ物は構造設備に関する基準に適合した管理施設で管理すること。（床は不浸透資材、適当な覆い、側壁の設置、液状排せつ物は貯留槽設置等）



ロ 管理施設の定期的な点検を行うこと。



ハ 管理施設の床、覆い、側壁または槽に破損を確認したときは遅滞なく修繕を行うこと。



ニ 送風装置等を設置している場合は維持管理を適切に行うこと。



ホ 家畜排せつ物の年間の発生量、処理方法(譲渡・焼却・浄化处理等)、処理別の数量について記録・保管を行うこと。



### 対象となる家畜と頭数

牛・馬

豚

鶏

10頭

100頭

2000羽

以上

以上

以上

お問い合わせやご相談は各市町、広域振興局、家畜保健衛生所まで

京都府丹後家畜保健衛生所  
与謝郡与謝野町字下山田616  
TEL 0772-43-1125  
FAX 0772-43-1124



## 令和 年度 家畜排せつ物の発生量等に関する記録

(記入日：令和 年 月 日)

## 1 年間の家畜排せつ物の発生量

(単位：t/年)

種類	平均的な飼養頭数 (頭) ① ※	1頭当たり排せつ物量		1年当たり排せつ物量		
		ふん ②	尿 ③	ふん ④ (①×②)	尿 ⑤ (①×③)	合計 ⑥ (④+⑤)
搾乳牛		16.6	4.9			
乾乳牛		10.8	2.2			
未経産牛		10.8	2.2			
育成牛		6.5	2.4			
合計		—	—			

※ 平均的な飼養頭数は、2月1日現在の頭数又は当該年と前年の2月1日現在の平均頭数等を用いる。

## 2 処理の方法及び処理の方法別の割合

処理方法	割合	
	ふん	尿
① 自家処理し、自己の経営内で利用	割	割
② 自家又は経営外で処理し、経営外で利用	割	割
③ 浄化処理施設で処理	割	割
④ 焼却施設で処理	割	割
⑤ その他( ) ( )	割 割	割 割
合計	10 割	10 割

注1) ②は、たい肥センター等の共同処理施設、耕種農家等に譲渡したものについて記入。

注2) ふん尿混合で処理を行っている場合は、固形物として処理している場合はふん、液状物として処理している場合は尿に記入する。

注3) 割合は、過去1年間の処理方法に基づいて記入する。

## 令和 年度 家畜排せつ物の発生量等に関する記録

(記入日：令和 年 月 日)

## 1 年間の家畜排せつ物の発生量

(単位：t/年)

種類	平均的な飼養頭数 (頭) ① ※	1頭当たり排せつ物量		1年当たり排せつ物量		
		ふん ②	尿 ③	ふん ④ (①×②)	尿 ⑤ (①×③)	合計 ⑥ (④+⑤)
肉用種2歳未満		6.5	2.4			
肉用種2歳以上		7.3	2.4			
乳用種		6.6	2.6			
合計		—	—			

※ 平均的な飼養頭数は、2月1日現在の頭数又は当該年と前年の2月1日現在の平均頭数等を用いる。

## 2 処理の方法及び処理の方法別の割合

処理方法	割合	
	ふん	尿
① 自家処理し、自己の経営内で利用	割	割
② 自家又は経営外で処理し、経営外で利用	割	割
③ 浄化処理施設で処理	割	割
④ 焼却施設で処理	割	割
⑤ その他( ) ( )	割 割	割 割
合計	10 割	10 割

注1) ②は、たい肥センター等の共同処理施設、耕種農家等に譲渡したものについて記入。

注2) ふん尿混合で処理を行っている場合は、固形物として処理している場合はふん、液状物として処理している場合は尿に記入する。

注3) 割合は、過去1年間の処理方法に基づいて記入する。

## 令和 年度 家畜排せつ物の発生量等に関する記録

(記入日：令和 年 月 日)

## 1 年間の家畜排せつ物の発生量

(単位：t/年)

種類	平均的な飼養羽数 (千羽) ① ※	千羽当たり排せつ物量		1年当たり排せつ物量		
		ふん ②	尿 ③	ふん ④ (①×②)	尿 ⑤ (①×③)	合計 ⑥ (④+⑤)
ひな (6か月齢未満)		21.5	—		—	
成鶏 (6か月齢以上)		49.6	—		—	
合計		—	—		—	

※ 平均的な飼養羽数は、2月1日現在の羽数又は当該年と前年の2月1日現在の平均羽数等を用いる。

## 2 処理の方法及び処理の方法別の割合

処理方法	割合	
	ふん	尿
① 自家処理し、自己の経営内で利用	割	— 割
② 自家又は経営外で処理し、経営外で利用	割	— 割
③ 焼却施設で処理	割	— 割
④ その他( ) ( )	割 割	— 割 — 割
合計	10 割	— 割

注1) ②は、たい肥センター等の共同処理施設、耕種農家等に譲渡したものについて記入。

注2) 割合は、過去1年間の処理方法に基づいて記入する。

## 令和 年度 家畜排せつ物の発生量等に関する記録

(記入日：令和 年 月 日)

## 1 年間の家畜排せつ物の発生量

(単位：t/年)

種類	平均的な飼養羽数 (千羽) ① ※	千羽当たり排せつ物量		1年当たり排せつ物量		
		ふん ②	尿 ③	ふん ④ (①×②)	尿 ⑤ (①×③)	合計 ⑥ (④+⑤)
ブロイラー		47.5	—		—	

※ 平均的な飼養羽数は、2月1日現在の羽数又は当該年と前年の2月1日現在の平均羽数等を用いる。

## 2 処理の方法及び処理の方法別の割合

処理方法	割合	
	ふん	尿
① 自家処理し、自己の経営内で利用	割	— 割
② 自家又は経営外で処理し、経営外で利用	割	— 割
③ 焼却施設で処理	割	— 割
④ その他( )	割	— 割
( )	割	— 割
合計	10 割	— 割

注1) ②は、たい肥センター等の共同処理施設、耕種農家等に譲渡したものについて記入。

注2) 割合は、過去1年間の処理方法に基づいて記入する。